# 単元名　避難所サバイバル（全６０時間）　単元構想図

## 学びのストーリー（単元の流れ）

1 次

避難所運営ゲーム HUG 体験

◎避難所には、どんな人がくるのかな？
- 最初は地域の人だけかと思っていたけど、観光客や海外の人も来るんだね。
- 病気や障がいのある方、日本語が分からない方、たばこを吸う人もいて、多くの人に配慮しなきゃいけないなんて、大変だ…。

テーマ・ゴールを決めたい

- これから来る南海トラフに備えたいな・将来、避難所のことは生かせそう。
- 避難所ではどんな生活があるのか実際にやってみたいな。
- ゴール **避難所生活体験の様子を動画にして、避難所のリアルを伝えたい。**

ゴールのためにしなきゃいけないことを考えたい

- 避難所には何が必要なのかな。・桜井小の防災倉庫には何が入ってる？
- 避難所に実際に避難した人や関わった人に聞きたい。
- 自分たちだけでは実現しないから専門家に聞きたいな。

2 次

避難所生活について調べたい

桜井地区とつながる

- 防災倉庫には非常食や毛布などが入っていたよ。
- 広域避難所運営委員会というものがあるよ（自治会 M さん・学校・市役所）
- 桜井小は広域避難所に指定されているよ。どのぐらいの人数が入るのかな？
- 桜井小は酒匂川の氾濫区域になっているね。・ベッドや歯ブラシも必要だ。
- 避難所生活の 1 日のスケジュールを調べたよ。暇な時間が多いね。
- **自治会の M さんに桜井地区の防災について聞いてみようよ**
- 桜井地区には赤ちゃんから高齢の方、ペットまで色んな人が支え合って避難できるようになっているんだね。桜井地区だけでなくて、小田原市全体でも防災の取り組みをしているかもしれない。桜井地区では小田原市一斉防災訓練があるんだね。
- 実際の避難所はどのように運営しているのかな？・実際の避難所を運営するのは誰？
- **校長先生にプレゼンして体験で 1 泊する許可をとりたい！⇒条件をクリアすれば OK**

**条件①ライフラインの設定**
- 南海トラフで全て止まった想定にしよう
- 電気は工夫できそうだけど、トイレはどうする

**条件②持ち物（防寒・体調管理）**
- カイロや寝袋を持ってきて、重ね着しよう
- ベッドや毛布は防災倉庫から借りたいな。

小田原市とつながる

- 段ボールトイレや簡易トイレがあるね。コストも考えて、実際に作って試してみよう。
⇒凝固剤は吸水性ポリマーという。おむつや新聞紙で代用できることが分かった。
- 段ボールトイレは壊れやすいね・体験中、常に簡易トイレを使用は不安な子もいる。
**⇒コストもかからない、防災倉庫の簡易トイレを体験中 1 回以上は使用することにしよう**
- **防災倉庫のトイレやベッド、毛布等をつかってもよいか、許可をとりたい。**
- **市の防災対策課の方に運営や設営簡易トイレの組み立て方、使い方を学びたい。**
- 簡易トイレの組み立て方がわかったよ。・避難所の設営に必要なものが分かったよ。
- 受付や体育館の割り振り、困ったことが分かったよ。
- 実際に分担して設営の練習をしてみたいな
- 市：ベッドやトイレは防災倉庫からつかってもいいけど、**毛布は圧縮しているから貸せない**

実際に避難所を再現して避難所生活体験の準備をしたい

民間とつながる

- 実際に何を購入するかを決めようよ。
- 本当に買う必要があるのか、手作りで代用できるのか分からないな。
- でも何がよいのか分からないな。・小田原市で作っているんだね！聞いてみようよ。
- **S さんによりよい防災道具の選び方を学びたい**
- **S さんに教えてもらった基準で選ぼう・実際に使い方も練習しないといけないね**

学校に 1 泊し、避難所生活体験をしたい

- よりリアルな体験にするために自治会の方にも協力いただきたいな。
- お家の人にも知っておいてほしいな。・困ったことや大変だったことを考えよう。
- 災害を経験して避難する人は心細いと思うから何か一つお楽しみを持ち寄ろうよ。

3 次
- **桜井小の避難所の課題を見つけ、自分たちにできることを考えたい**
- 実際に泊まってみて、電気がなくて怖かったな。小さい子も怪我してしまうよ。
- 作り方を乗せたキットを在校生や地域の方にプレゼントしようよ。
- 自分たちが避難所生活体験をしたトイレやベッドなどを実際に体験してほしいな。
- 自治会の人やお家の人にも来ていただいて体験してほしいな。招待状を書こう。

自分たちができること

ゴール 避難所のリアルを伝えたい

◎1 年間の活動を通してどんな力が身についたかな？
- 避難所に必要なものを知れた。実際に起きた時に自分から地域の力になりたいな。

## 授業デザイン

**手立てや概念**
引き取り訓練をきっかけに避難所運営ゲームに興味を持った。避難所にはどのような人がくるのかを考えた。

**響き合う**
① 長い時間をかけて探究できる
② 各教科の学びを生かせる
③ 楽しくみんなで協力できる
（とりえをいかす）
の視点でテーマを話し合う。

**自己調整**
ゴールを達成するために必要なことを考え、友だちの考えと合わせて話し合い、計画を立てる。

**手立てや概念**
広域避難所運営に関する資料や地域での取り組みについて、インタビューを通して子どもたちが発見できるように工夫する。

**自己調整**
ICT の活用にいきがちだが、実際に校内の倉庫に見に行ったり、教師にインタビューするなどの方法も価値づけていきたい。

**響き合う**
調べて分かったことを共有することを通して自分の情報と友だちの情報を結び付け、避難所を運営する立場の人の思いや願いについて考える。

**高め合う**
話し合いを基に、更に知りたいことや避難所生活体験において必要なことを考え、次の課題をつくる

本時

**手立てや概念**
ご協力のお願いの電話を子どもたち自身が行い、自分たちで学習を紡いでいくという実感が湧くようにする。

**響き合う**
避難所生活体験をするために必要なものについて、調べたことや聴いたことを基に、購入しなければならないものと手作りすることができるものに分ける

**高め合う**
手作りできるものについて、友だちと協働して作り方を調べ、実際に作りながら、より身近な材料で、快適で簡単な作り方を見つけていく。

**手立てや概念**
イベントに来てくれた人には最後に感想を記入してもらい、達成感が得られるようにする。年間の振り返りでも活用していく。

**手立てや概念**
協力してくださった地域の方にお礼の手紙を送る。

## 評価規準／評価方法

【知識･技能】
避難所運営ゲームを通して、避難所にはどのような人が避難してくるのかを理解している。
（発言･ワークシート）

【思考・判断・表現】
テーマについて、総合の３つの観点に当てはまる活動かを考え、話し合おうとしている。
（発言）

【思考・判断・表現】
ゴール達成のために必要なことを実際の活動をイメージしながら考え、伝え合ってている。（発言）

【思考・判断・表現】
避難所生活について、より確実で必要な情報の集め方を適切に選択し、分かったことを伝え合っている。（発言・ノート）

【思考・判断・表現】
南海トラフ地震等災害時発生時の動きやライフラインへの影響を調べ、考えている。
（発言・ノート）

【思考・判断・表現】
避難所生活における持ち物やトイレについて多角的に考え、意見を伝え合っている。
（発言・ノート）

【思考・判断・表現】
避難所生活における防寒対策について多角的に考え、意見を伝え合っている。
（発言・ノート）

【主体的に学習に取り組む態度】
・避難所生活体験に必要なものの準備について、主体的・協働的に取り組もうとしている。
（観察・振り返り）

【知識・技能】
・避難所の役割やそこで生活する人の思い・課題について理解している。（発言・振り返り）

【主体的に学習に取り組む態度】
・避難所生活体験に必要なことや自分たちにできることを進んで考え、友だちと協働しながら取り組もうとしている
（発言・観察・振り返り）

## 願う子どもの姿

- 地域における避難所の役割やそこで生活する人の思い・課題について理解している姿。
- 避難所生活体験に必要なこと・ものを考え、より確実な情報を適切に選択し、分かったことを伝え合っている姿。（前半）
- 避難所生活体験の準備や体験を通してできた困り感や課題に対して、地域のために自分ができることを考えている。（後半）
- 避難所生活体験に必要なことや自分たちにできることを進んで考え、友だちと協働しながら取り組もうとしている。